

第6回 佐伯市廃棄物減量等推進審議会議事録（抄録）

開催日時 令和5年8月3日（木） 10:00～11:30
開催場所 所在地 佐伯市東浜1番38号
会場名 エコセンター番匠 2階大会議室
出席者 委員15名のうち、13名出席（欠席：2名）
首藤部長、石田課長、清家補佐、吉岡補佐、羽明総括、山田、坂口
傍聴者 0名

1 開 会 市民生活部長による開会あいさつ

2 会長あいさつ 宮崎会長によるあいさつ

3 議 事

宮崎会長の進行により次の審議を行った。

(1) 議題1 第2次佐伯市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について（諮問）

市からの諮問事項として、事務局が計画案について説明した。

(2) 議題2 答申について

事務局が、答申案について説明した。

○計画案への質問・意見

委員「紙類の分別方法について、その他の紙類を入れる紙袋があれば燃えるごみから資源となる紙が増えると思う。ぜひ、紙袋の配布等に取り組んでほしい。」

事務局「紙袋の製作費が思ったよりも高額であったため、進んで分別協力する世帯などへの配布を今後検討していきたい。また広告募集による経費削減も考えていきたい。」

委員「個人情報載っている紙（病院の診療報酬明細書など）は、資源にすべきか、燃えるごみに出すべきか迷うので、どうすべきか教えてほしい。」

委員「再生業者の意見としては、資源として回収後に漏洩する恐れはほぼないが、気になる場合は、燃えるごみとして出せばそのまま焼却処理されるので安心できると思う。」

委員「資源物となる布類が増えるが、どのように再資源化されるのか。」

事務局「状態の良いものは古着としてリユースされる。布製品は綿100パーセントのものが少なくなり、化学繊維が増えているため、ウエスなどの素材として再資源化される。再生処理業者が不要なものは燃えるごみとして処理することになる。」

○答申内容の採決

全員の拍手により承認された。

4 その他（事務連絡等）

(1) スケジュールについて

来年度以降の審議会では、指定ごみ袋の見直し、ごみ処理手数料の負担割合、廃プラスチックの分別収集などについて、検討していくことを説明した。

5 閉会 市民生活部長による閉会あいさつ